

2019 年度 学校関係者評価 記録

(第 3 回 学校教育事業委員会)

日 時：2020 年 2 月 25 日（火）

午後 6 時 30 分～8 時 30 分

場 所：神戸YMCAカレッジ 308 教室

I. 出席者

林敬子（長）、海老直人（副）、岩本哲人、岩野祐介、迫原三重、土肥伊都子
中出 恵子、中畠孝幸、濱瀬眞知子

（以上委員）

松田道子(担当理事)

横山徹太郎、川北陽子、達 直樹、田村光、橋本唯、鐘瑋悦、古谷茉穂

（以上職員）

坂本孝司（担当主事）

I. 開会祈祷

坂本氏より、開会祈祷がなされた。

I. 議題

1. 神戸YMCA全体報告

松田より以下の通り報告がなされた。

新型コロナウイルスに関する対応、神戸YMCA各指定管理事業について、報告がなされた。

3. 2019 年度各校の状況、2020 年度の募集状況について

1) 専門学校 ホテル学科

古谷より、別紙 2019 年度第 3 回学校教育事業委員会資料 神戸YMCA学院専門学校報告に基づき報告がなされた。

中国人留学生の内、旧正月を利用して帰国していた生徒について、日本に帰国後、自宅待機をしていた生徒も現在復帰をしている。

2) 専門学校 日本語学科

橋本より、別紙資料に基づき報告がなされた。

3 月 5 日に卒業式が予定されている。新型コロナウイルス対策のため、時間の縮小や内容の変更などを予定している。

卒業後の進路未決定者の増加については、例年合格を得ていた大学から得られていない。卒業後のフォローアップをして行きたい。

留学ビザの申請や許可に関して、2 月 27 日に入管から許可がある予定であるが、中国が特定国から除外されたことは今後の生徒募集に大きく影響があるだろう。

以上、承認

4. 2019 年度学校評価

1) 専門学校

古谷より、別紙資料 2019 年度後期 1 年生・2 年生・3 年生 学校評価アンケート集計まとめに基づき説明がなされた。

例年ペーパーベース生徒全員が全ての項目に答える形をとっていたが、今回グーグルフォームで回収を行った。その結果、所々の項目に答えていない生徒があった。

生徒それぞれの評価結果から、生徒自身の評価が低いと感じた。

報告を受け、各委員から以下のご意見が挙げられた。

グーグルフォームで、回答の際に1つ1つ順番に回答するよう設定することで改善できるだろう。

生徒それぞれがしっかり評価を行い、結果を提出することで学校が改善され、生徒自身の学習や学校生活に生かされることを生徒に伝える必要がある。

自己点検・評価

別紙資料 神戸YMCA学院専門学校 自己点検・評価表に基づき説明がなされた。

フォームは、専門学校自己点検の基本フォームに基づいた内容にしたがっており、(11)については留学生が多く在籍している本校の実情に応じて変更している。

説明・報告を受け、各委員から以下のご意見が挙げられた。

- ・日本語教育推進法に関する事柄から公開を求められているのでしょうか。
→専修学校として学校の質保証の意味から義務付けられているものである。
- ・(2)②にある職業実践専門課程認定に向けて、準備を進めるとは、どういう内容か？
→職業実践専門課程は、専修学校の中で職業に直結している学校に認定されるものである。
ホテル学科は、それに充当すると理解している。そのため、学校としての評価をよりたかめるために必要と考えて、認定を受ける準備を進めている。
- ・在学中に生徒たちが取得できる資格とはどういったものなのでしょうか。
→現在は、HRS 判定、ブライダルコディネート検定、TOEIC、旅行業取扱主任等です。
- ・防火管理者、ソーシャルマナー、ソムリエ検定等は、社会に出て実際に働く際に非常に役に立つので、今後の取得を目指す資格に加えてはどうか。
- ・学校評価（アンケート）について、4.5 や5が多い。度数分布が必要ではないでしょうか。
→次年度のアンケート集計時に検討します。
- ・その他、自己点検評価について、変更が必要なものがあれば、3月中に連絡をすること。
それを反映したうえで承認とする。

(2)次回委員会について

2020年6月9日（火） 18：30～とする。

I. 閉会

以上。

記録：達 直樹